情報公開文書

研究課題名	くも膜下出血患者における spasm 治療の変化による影響
研究代表者	熊本赤十字病院　戸高　健臣
研究分担診療科	脳神経外科
研究機関名	熊本赤十字病院、熊本大学病院
研究期間	2026 年 2 月 13 日～2027 年 6 月 30 日
研究目的と意義	くも膜下出血後の症候性脳血管攣縮(spasm)および遅発性脳虚血は、患者さんの予後に大きな影響をもたらします。患者さんの背景や治療方法によりそれらの発生率や予後に変化があったかどうかを研究します。
研究方法	●対象となる方 2023 年 4 月から 2026 年 1 月までに熊本赤十字病院で治療を行った脳動脈瘤破裂に起因するすべてのくも膜下出血患者さん。 ●方法 上記の条件にあてはまる患者さんの下記診療情報をカルテから取得します。 これらは全て日常診療で実施される項目であり、追加検査などを必要としません。 ●利用するカルテ情報 ・年齢、性別 ・発症した動脈瘤の部位 ・既往歴（高血圧・脂質異常症・糖尿病の有無)、喫煙の有無 ・脳梗塞の有無 ・くも膜下出血の重症度を示す指標（Hunt＆Kosnik grade、Fisher group、WFNS 分類、JCS・GCS） ・発症日、治療日、治療法（開頭クリッピング術、またはコイル塞栓術のどちらか) ・脳画像解析ソフト「RAPID」で算出される各種データ ・発症前/退院時/発症 3 ヶ月後の mRS（生活自立度の評価)、死亡の有無 ・症状を伴う脳梗塞の有無・症状のない脳梗塞の有無 ●他機関へ提供する方法 研究実施のため、上記記載のある診療情報を熊本大学病院・宮﨑医師へ提供します。提供する場合は、個人を識別しうる項目は匿名化した上で使用します。提供方法は、メール添付にて提供します。データは、パスワードをかけたパソコンおよびファイルにて管理し、情報漏洩防止に努めます。
本研究参加へのお断りの申し出について	下記問い合わせ先にご連絡いただくことで、拒否の機会を保障します。
本研究に関する問い合	熊本赤十字病院　脳神経外科　戸高　健臣

わせ	Tel:096-384-2111（代表） 熊本大学病院　脳神経外科　宮﨑　愛里 Tel:096-344-2111（代表）